



①

- ① 買い得商品が並ぶ店先の特設コーナー
② 店内の雰囲気はスーパーと変わりません
③ 自らも売り場に立つ吉岡理事長(手前左)
④ 利用者の声を店づくりに生かします

市場からセルフ型へ、そしてさらに

食の棚 フークット (神戸市長田区)

新長田駅から南へ徒歩約5分、「アスタくにつか1番館」の地下1階にある同店の前身は、1916年に誕生した「丸は市場」にさかのぼります。同市場は66年から3階建てのビル内で営業していましたが、95年の阪神・淡路大震災で全壊、全焼しました。

その後、市場の22店を含む約100店から成る仮設市場「復興元気村パラール」ががれきの中にオープンし、被災したまちに明かりをともしました。そして、いち早く立ち上がった再開発ビル、アスタくにつかに入居し、営業を続けます。しかし、周囲にスーパーが増え始めると客足はだんだんと離れていきました。

そこで、新たな挑戦として2002年、旧丸は市場の有志6人で、専門店を集め1カ所のレジで購入できるセルフ形式の「食の棚 フークット」をオープンします。1カ所で買える便利さに加え、市場の専門家ならではの目利きとコミュニケーション力で近隣の高齢者層を中心に固定客を獲得していききました。

近年は周囲の新しいマンションに若いファミリー層の入居が増えつつあります。「従来は一人一人の嗜好に合わせ、よそにはない商品を置いてきましたが、そのようなやり方では生き残るのが難しくなってきました」と吉岡理事長。

今年1月に改装に踏み切るととも

に、「売れ筋の商品でしっかりとお得感を出す」戦略を打ち出しました。そしてさらに専門店による週替わりの特設コーナーで変化を出す一方、ご意見コーナーを設けるなどコミュニケーションも大切にしており、「ファミリー層のお客さんも目立つようになってきた」と手応えを感じています。

市場の良さを大切にしながらも環境の変化に合わせて挑戦する姿勢を忘れず、これからも「地域で一番親しみやすい店」を目指します。

食の棚 フークット

神戸市長田区腕塚町5-3-1-001
アスタくにつか1番館B1階
営業時間/10:00~20:00
定休日/水曜

TEL 078-646-8522 URL <http://foocket.jp/>

編集後記

情報誌「商ひょうこ」の休刊に伴い、今号から「がんばる商店街」を設け、県内の商店街の新たな取り組みを定期的に紹介します。どうぞよろしくお願いいたします。

JUMP

2021年10月号 令和3年9月30日発行
発行人:古川直行 編集人:洲上茂也

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター
神戸市中央区東川崎町1-8-4

神戸市産業振興センター1階・2階・7階
TEL 078-977-9070(代) URL <https://web.hyogo-iic.ne.jp/>